

塩崎 雄 大議員



1 (一般質問)
1 中学校運動部活動の地域移行について

部活動地域移行の進捗と

今後の方針は？

問

中学校部活動の地域移行に係る今後のスケジュールについては、令和4年12月定例会において、令和4年度中に検討委員会の設置を検討しており、令和7年度末をめどに地域移行を進めていきたいと答弁いただいたが、進捗はどうなっているのか。
また、地域移行の実態を把握できず、移行に関する課題に不安や疑問を持つ保護者のために、説明会などを開催し丁寧な説明をすることが必要であると考え、地域移行についての周知や質疑応答する場を設ける考えはあるのか。

るのか。設けるのであれば、開催時期や方法はどのように考えているのか。

部活動の地域移行の最大の課題は、受け皿となるスポーツ団体の有無や指導者の確保であり、その体制を構築して円滑に運営していけるかどうか重要である。本市の地域事情に合った実証事業に取り組み考えはあるのか。

答

地域移行の進捗状況について、本年2月に学校関係者と地域のクラブ団体などが中心となって、西条市部活動移行検討委員会を設置し、今後の学校部活動における地域連携や地域クラブ活動などについて協議・検討を行っていくこととした。同会議においては、休日の学校部活動についての地域人材を活用した指導体制の可能性などについて議論を行ったほか、合同部活動の取組の一つで県中学校体育連盟から新たに提案された拠点校部活動方式や、本年度の同連盟主催の大会に対する地域クラブチームの参加要綱の創設などの重要事項について確認を行ったところ



丹原西中学校の民間部活動指導員による指導

である。また、今後の検討課題として、市内全中学校の部活動を支えていくだけの民間指導者の確保やその調整組織の不在、当該指導員に対する謝礼に係る財源問題などが提起された。一方で、県との関係では、令和4年度から県により開催されている部活動改革市町連絡協議会に関係者が出席し、他市の取組状況や県の方針などの最新情報を注視している状況である。

こうした中、学校現場での具体的な動きとして、9月下旬から開催予定である新人体育大会に向けて、教育委員会承認の下、一部の学校では複数の学校が連携し、拠点校部

活動制度を活用した新たな部活動が開始された。

周知については、まずは学校長をはじめ、小・中学校体育連盟の役員に対し、県のガイドライン公表後のタイムイングで説明会を開催し、国や県の方向性について共通理解を深めた上で、検討委員会や学校長会なども協議し、国や県のガイドラインを中心とした検討の方向性について、保護者などを対象とした説明会の開催や意向調査なども検討していきたい。

本市においては、現在一部の部活動について、国の補助事業である部活動指導員配置促進事業や、県の学校・家庭・地域連携推進事業を活用し、民間協力による部活動を実施している状況である。まずは、これらの事業を通じ、教員の負担軽減と民間指導者による部活動の運営検証を行っているところであり、引き続き実証研究を進めていきたい。また、地域クラブ活動などを含めた更なる実証事業の拡大展開については、検討委員会などにおいて、協議、研究していきたい。

自民クラブ

井上 浩 二議員



1 (一般質問)
1 公民館の維持管理について

2 小松中央公園グラウンドゴルフ場について

みんなが集う公民館
利用しやすい環境を！

問

公民館は生涯学習の拠点であると同時に避難所としても利用されることから、利用者の安全性、快適性に配慮した維持管理が必要である。エレベーターの設置に向け設置基準を見直す考えはないのか。

また、階段の手すりが片側にしかない施設があるが、両側に設置する考えはないのか。